陣内やすこの活動日誌

7月	7日	学校訪問
	8日	八王子手をつなぐ女性の会運営委員会
	9日	シネマ&トーク「ヤング@ハート」
	10日	「女性に対する暴力」セミナー （於：労政会館）
	12日	都議会議員選挙投票日 八王子平和市民連絡会会議
	13日	高齢者プロジェクト
		勉強会：ケアプランを自分で作ろう
	15日～16日	三多摩議員ネット合宿
	17日	「地域の環境を考える会」市との意見交換
	21日	教科書採択に向けて、教育委員会～要望書提出
	22日	教育委員会傍聴（教科書採択審議のため）
	24日	少子・高齢化委員会
	27日	カフェ・ミーティング（於：カフェケン）
8月	2日	カフェ・ミーティング（於：南大沢）
	3日	シネマとフェミニズム研究会
	5日	教育委員会傍聴（教科書採択審議）
	6日	広島原爆祈念式典参加
	8日～9日	全国フェミニスト議員連盟夏合宿 IN 松江
	18日	中山の里山を愛する会 活動
	20日	「男女がともに生きる八王子プラン」出前講座
	23日	はちおうじ子どもミーティング（於：君田小学校）
	25日	会派代表者会
	26日	総務企画・厚生委員会
	27日	文教経済・都市環境委員会
	29日	ジェンダーフォーラム（於：ヌエック）
	30日	衆議院議員選挙投票日 学校図書館支援講座
	31日	ごみ問題学習会（於：みんなの居場所）
9月	1日	第3回定例議会告示日
	3日	議会運営委員会
	8日～10日	一般質問
		（陣内は9日 ＊傍聴ありがとうございます）
	11日	高齢者プロジェクト
	12日	学校給食を考える勉強会
	14日	本会議
	15日	総務企画・厚生委員会
	16日	文教経済・都市環境委員会
	17日	証拠閲覧
		学生からのインタビュー
	18日	会派代表者会 証拠閲覧
	23日	「つくる つくろう通信」41号発行
	24日	議会運営委員会
	25日	なんでも相談
	26日	パステルまつり
	27日	身の回りの電磁波を考える勉強会
	28日	本会議
	29日	本会議
	30日	「障がい児童のサービスに関する」出前講座
10月	1日	市制施行記念式典
	2日	決算総括質疑
	3日	NO!寝たきりデー
	5日	決算特別委員会分科会
	6日	決算特別委員会分科会
		ハスカップ・セミナー（介護保険について）
	8日	八王子手をつなぐ女性の会運営委員会
	9日	なんでも相談
	14日	決算特別委員会
	16日	本会議最終日
	18日	ふれあい運動会
		総合防災訓練
		地区防災訓練

写真でつづる

Peace インフォメーション

八王子平和強化月間

（10月21日～11月30日）

今年もやってきました。「平和強化月間」は、平和・9条・人権などの問題に取り組む、八王子市内の幅広い市民団体・労働組合などが創意工夫をこらしたイベントを通じて、広く八王子の市民に平和について考えるきっかけを提供する取り組みです。党派をこえた市民のユニークな取り組みとして注目されています。

◆ メイン イベント ◆

11月6日（金） どう変える日本の平和政策 ―つながりあうアジアは可能か

講 師：水島朝穂さん ピア／演奏：崔善愛さん
日 時：11月6日(金) 18：15開場・18：45開会
場 所：クリエイトホール(5Fホール)
参加費：700円(※前売券500円)
主 催：八王子平和市民連絡会
（陣内のところにチケットあります042-636-8158）
連絡先：FAX 番号：020-4624-2381
E-mail：peace8@yahoogroups.jp

◆ イン イベント ◆

ミニバス ハイク

秋の一日を、ご一緒に楽しみませんか？
原爆の図で有名な丸木美術館、そして川越散策を企画しました。
詳しくはおってお知らせいたします。

日時 11月18日（水） 集合9時
いくところ 丸木美術館、川越など
費用 約8000円程度（昼食含めて）

参加希望者は 電話042-636-8158
FAX042-636-8640

カフェミーティング

11月9日(月) （議会報告会）
14時～16時…みんなの居場所
18時～20時…カフェケン

11月22日(日)
10時～12時…南大沢文化会館

八王子市議会レポート
No. 42 2009年10月30日

つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派 北野台在住

編集／発行：市民自治の会(陣内やすこ)
編集／発行：市民自治の会(陣内やすこ)
E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://jinnai.ne.jp

2008年度決算審議が終わりました。

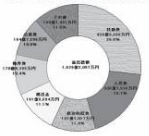
昨年秋以降のリーマン・ブラザーズ破綻を契機とする、金融危機・世界同時不況の影響によって、法人市民税が15億円あまり落ち込みました。個人市民税は、人口増もあって増加傾向でしたが、2009年度以降に、この経済不況の影響が大きく出てきます。2010年度は、約50億円あまりの税収減と予想されていて、厳しい個人生活とともに自治体財政も厳しさの一途をたどることになります。

2008年度の決算をチェックして思うことは、地方自治体の本務である「住民の福祉の増進を図る」、このことがどう実現されてきているのか、です。

教育費については、予算が少ないといわれているにもかかわらず、10億円あまりの不用額(使わなかったお金)をだしています。また、教育に予算が回らず、JR八王子駅南口再開発事業に22億8000万円も無利子で貸し付けています。2009年度には返って来るお金とはいえ、優先順位のつけ方に疑問があります。新市民会館建設に関しては、指名停止業者である大林組に発注しないということで、分離発注の予算が組まれたのですが、「できなかった」とのこと。予算とは市民との約束。これでは困ります。

高齢者福祉に関して、相変わらず介護保険料徴収と保険給付の差で約6億円も残が出ています。サービスが使えない、ということで、保険料の支払いが、高齢者の安心につながっていません。そんな中、シルバーサポート制度という保険外サービスが始まったのですが、使い勝手が悪いのか、実績が上がっていません。要検討です。

一般会計歳出性質別内訳



決算額比率

（八王子市資料より）

第4回定例議会 日程		
11月	20日	告示
	25日	議会運営委員会
	30日（～3日）	一般質問
12月	4日	本会議
	7日	総務企画・厚生委員会
	8日	文教経済・都市環境委員会
	10日	会派代表者会
	11日	議会運営委員会
	15日	本会議最終日

ブログ更新中！！
http://jinnai.ne.jp
ほぼ毎日更新しています。みてね！

■ 採決状況―2008年度決算認定に対して―

陣内	自民党	公明党	日本共産党	市民・民主クラブ	民主・八王子未来・無所属クラブ	ネット・社民	諸派（1名）
×	○	○	×	○	○	×	○

八王子の教育事情

―2008年度決算からみえてきたこと―

1.八王子の教育の水準は？

残念ながら、とても低いです。中学校費では、国が八王子の規模ではこれくらいの教育費がかかるでしょう、と積算した費用（基準財政需要額）の**0.69倍(2007年度)**でしかありません。もちろん多摩26市中で最低です。基準を満たしていないのは、あと稲城市(0.97倍)があるだけです。ナショナルミニマムも達成できていないという実情です。

都・区市町村別教育費の基準財政需要額に対する比率（2007年）

a 小学校（区市町村）（単位：千円）

	総額 I 区市町村支出金	総額 II 教育協会に対する特定財源	総額 III 差額(I－II)	総額 IV 当該年度の教育費の基準財政需要額	総額 V 比率(III/IV)	建築費を除いた額 I 区市町村支出金	建築費を除いた額 II 教育協会に対する特定財源	建築費を除いた額 III 差額(I－II)	建築費を除いた額 IV 当該年度の教育費の基準財政需要額	建築費を除いた額 V 比率(III/IV)	
区部	161,400,461	472,946	161,126,515	34,807,190	4.63	117,224,315	359,655	116,864,660	34,807,190	3.36	
市部	55,597,692	35,809	55,561,883	29,658,872	2.09	42,929,759	35,809	42,893,950	29,658,872	2.03	
八王子市	8,119,606	4,697	8,114,909	3,465,345	2.34	5,715,466	4,697	5,710,769	3,465,345	1.65	八
立川市	2,779,674	－	2,779,674	839,856	3.31	2,467,965	－	2,467,965	839,865	2.94	立
三鷹市	3,006,596	457	3,006,139	724,676	4.15	2,155,307	457	2,154,850	724,676	2.97	三
府中市	3,300,445	136	3,300,309	1,118,425	2.95	2,666,885	136	2,666,749	1,118,425	2.38	府
町田市	5,894,897	3,024	5,891,873	2,056,973	2.86	4,582,143	3,024	4,579,119	2,056,973	2.23	町

b 中学校（区市町村）（単位：千円）

区部	81,894,556	295,713	81,598,837	15,493,734	5.27	51,719,332	166,408	51,552,914	15,493,734	3.33	
市部	27,598,793	26,119	27,572,674	10,444,045	2.64	17,233,755	26,119	17,207,636	10,444,045	1.65	
八王子市	3,967,969	1,795	3,966,998	9,954,066	1.46	1,566,906	1,795	1,564,945	9,954,066	0.66	八
立川市	1,124,849	－	1,124,849	466,176	2.41	751,934	－	751,934	466,176	1.62	立
三鷹市	1,983,455	629	1,982,826	326,586	6.07	1,020,561	628	1,019,932	326,586	3.12	三
府中市	2,832,368	1,347	2,831,021	482,448	5.78	1,374,364	1,347	1,373,017	482,448	2.84	府
町田市	2,861,295	4,140	2,857,155	906,005	2.99	1,525,263	4,140	1,521,123	906,005	1.68	町

（都教育委員会ホームページより）

小学校費においては、わずか**1.65倍**。清瀬市と同順位の21位です。教育の場合、当然、質の問題も重要ですが、予算がなければ必要なニーズにもこたえられないということです。
どうおもわれますか？

2.学校図書館の充実は？

読書指導員（ボランティア）は、小学校で69校中33校、432人。中学校で38校中7校、28人です。年4回の研修などに使われている費用は、5700万円。各学校に配分される図書購入費は、小学校の場合、**基準財政需要額積算の87%、中学校では51%**にすぎません。本を購入するお金もこんなに削減されているのです。もちろん、学校図書館はいつでも開館していて、子どもたちが利用できるようになっていなければなりません。そして、読書指導だけでなく、情報への水先案内人としての専任の図書館司書あるいは指導員が必要ですが、多摩26市中、学校図書館に専門員が配置されていないのは、八王子市を含めて5市のみとなっています。その一方で、2009年度予算では、中学校25校の空調機設置費用として5000万円の予算がついています。まずはソフトの充実が優先だと思うのですが・・・。

3.特別支援教育の進展は？

特別支援教育が始まって2年たちます。八王子は、学校も多いということから、それに先立ち、2004年から導入に向けての準備を進めてきていました。各学校に特別支援コーディネーターがつくられ取り組んできているのですが、予算の関係もあって、充分なサポートができていないのが現実です。

事業名		金額（円）	備考
特別支援教育		46,952,505	通常の学級(特別支援サポーター等)
特別支援学級管理・運営	小	21,754,685	特別支援学級(知的固定)指導補助員
	中	11,985,733	
心の教育とこころのケア		22,456,800	メンタルサポーター
高尾山学園		36,279,639	スクールカウンセラー等
計		139,429,362	

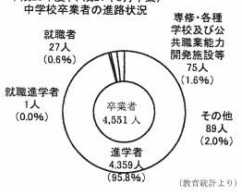
（市の答弁より）

国は、2007年度から「特別支援教育支援員」の地方財政措置をおこなっています。2008年度の八王子市分は、1億3604万円でした。
どのように使われているのかを示したのが上記の表ですが、「特別支援教育支援員」の費用が、なぜ、高尾山学園の運営経費に使われるのでしょうか。地方財政措置がなくても、高尾山学園は2004年から、不登校支援の学校として開校、運営されてきているのです。これでは、国の目的でもある通常学級での特別支援教育サポートがおろそかになってしまいます。国の試算は、一校120万円というものです。決して多くはありませんが、こういった特別支援教育の人的予算が各学校の実情に応じて、使われるようにしたいものです。

4.高校進学率は？

いまや、多くの子どもたちが高校進学を目指します。保護者の多くも、子どもの高校進学を期待しているといえます。新政権になって、高校進学無償化が言われるようになったのも、こういった時代の変化に対応してのことであり、また、日本の教育費のなかで、私費負担、特に家庭負担が大きいことに配慮してのことといえます。また、教育は、貧困の連鎖を断ち切るためにも重要です。八王子では、ここ何年も東京都の高校進学率(97.3%2007年)の平均を下回っている状況です。2008年度は95.8%でした。専修学校等への進学が多いということですが、教育委員会として、この原因をキチンを分析し、対策を立てる必要があります。経済的問題、学力問題、そして、将来に対する意欲の問題など、子どもに寄り添った対応が急務です。

平成20年度（平成21年3月卒業）中学校卒業者の進路状況



（教育統計より）

読書のまち八王子